

あとがき

<編集顧問> <編集委員>

越智隆弘	糸満盛憲
小野啓郎	荻野利彦
竹光義治	菊地臣一
守屋秀繁	黒坂昌弘
山室隆夫	清水克時
矢部 裕	高岸憲二
	富田勝郎
	戸山芳昭
	吉川秀樹

<編集同人>

井形高明	澤村誠志
生田義和	杉岡洋一
井樋栄二	田辺剛造
岩田 久	田畑四郎
岩本幸英	玉置哲也
大井利夫	中村耕三
小野村敏信	馬場久敏
加藤博之	浜西千秋
金田清志	廣谷速人
黒川高秀	佛淵孝夫
腰野富久	三笠元彦
紺野慎一	三浦隆行
櫛田喜三郎	持田讓治
酒匂 崇	山田治基
桜井 実	吉川靖三

今月号の「視座」欄は、菅本一臣教授(阪大運動器バイオマテリアル学)が専門医制度の弊害について述べておられます。山は高きがゆえに尊からず、ひよろ長くて高いだけの専門は、ちょっとした地震や、嵐によってたちまち崩れてしまいます。裾野の広い富士山のような形が理想ではないかと思えます。専門というのは静的なものではなく動的なものです。疾病構造の変化や、科学技術の進歩によって時代とともに変化しますし、また、文化の違いや国によっても変わるものです。制度によって守られることを期待するのではなく、専門の研鑽と同時に裾野を広げる努力を継続することが重要です。専門性の高さと裾野の広さは本来矛盾するものではありません。

専門医制度という理念も大事ですが、一方で、実質的であるべきです。同業者のあいだで互いに評価し、専門医の質を担保するためには大きな手間と経費が必要です。資格を取得したり、維持しようとする意欲を持続させるためには、専門医の資格に経済的な裏づけが必要です。理念だけが走っているだけの専門医制度は、か弱いものになってしまいます。専門医が有効に作用するには、資格に応分の報酬を伴う必要があると思います。

「誌上シンポジウム」欄「人工股関節術後の骨折の治療」は、専門外の私にも興味深い特集でした。インプラントによる周囲骨の脆弱化、骨折、その診断と治療というテーマは、整形外科のいろいろな分野に共通する問題です。このほか今月号は基礎科学、小児整形外科など幅広い分野の知識が満載です。

今は梅雨の真っ最中、まもなく本格的な暑い夏がやってきます。皆さんお体を大切に、ご活躍ください。

(清水克時)

臨床整形外科 (第43巻 第7号)

2008年7月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 2,520 円(本体 2,400 円+税 5%)

2008 年ぎめ予約購読料 29,400 円
(配送料弊社負担)

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659・5660

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2008, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ JCS<(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の承諾を得てください。